

小児科研修プログラム
研修実施施設：泉大津市立周産期小児医療センター

カリキュラム責任者 宮下 律子

《一般目標 GIO : General Instructional Objectives》

小児疾患の特徴や成長と共に変化する小児の特性を理解し、プライマリーケアできるよう小児疾患全般の診療に必要な基本的知識や技能を習得することを目標とする。

《行動目標 SBO : Specific Behavioral Objectives》

1 一般小児診療

- ① 小児の Common disease について適切な病歴聴取を行い、理学所見を取り、適切な初期対応を行う。
- ② 基本的検査(一般血液検査、尿検査、放射線検査)を行い診断し、治療を行う。
- ③ 基本的手技(採血、注射、胃洗浄等)を学ぶ。
- ④ カンファレンスで受け持ち患者のプレゼンテーションができる。

2 健診予防接種

- ① 予防接種に関わり、意義、副反応について理解し、計画を立て説明し接種する。
- ② 乳幼児健診に参加し、正常小児の発達を理解する。
- ③ 健診及び一般診療の中での育児相談を見学し、理解し、発達障害、発育不良のみかたを学ぶ。

3 小児救急医療

- ① 痙攣、意識障害、呼吸不全、環境不全などのみかたを習熟し、診断処置を学ぶ。

- ② Common disease と重篤な疾患との見分け方を学ぶ。

《方略 LS：Learning Strategies》

研修スケジュール

	午 前	午 後	夜間
月	一般外来/病棟実習	健診/BCG	なし
火	一般外来/病棟実習 循環器外来	予防接種/病棟実習	なし
水	一般外来/病棟実習	健診/予防/注射	救急外来(当直)
木	一般外来/病棟実習	予防接種	なし
金	一般外来/病棟実習	専門外来(腎外来)	なし

小児科において経験すべき疾患・病態

- ・小児けいれん性疾患
- ・小児ウイルス感染症(麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ)
- ・小児細菌感染症
- ・アレルギー性疾患(小児ぜんそく、マトロー性皮膚炎、食物アレルギー)
- ・先天性心疾患、川崎病
- ・発育不良(低身長)等内分泌疾患
- ・発達障害
- ・呼吸器感染症(細気管支炎、肺炎等)
- ・消化器疾患(感染性腸炎、腸萎縮等)

《研修評価 EV：Evaluation》

- ①研修目標の各項目について、自己評価及び指導医評価する。